

## 私たちの提言

今の日本には様々な問題があります。まず、これらの点について確認しました。

- ・台風、地震、黄砂などの自然環境問題。
- ・大気や水の汚染、原発問題によるエネルギー不足、情報を悪用した犯罪などの人為的な問題。
- ・騒音や交通渋滞、ヒートアイランド現象、光害などの都市問題。
- ・無気力、無関心な若者の増加、いじめやけんか、愛国心の低下、夢を持っていないなどの心の問題。
- ・増え続ける国債、年金問題などの政治的問題。

これらの問題のせいで、地球温暖化や格差や差別が起こり、今の日本に元気がなくなってきました。

これらの問題点を解決するためのアイデアについて話し合いました。

森林伐採を防ぐために通信衛星を利用し情報を電子機器に送信する仕組みを作ります。その結果、紙の使用量が減り、森林伐採が減り、砂漠化が阻止されます。

無気力・無関心な若者に気力を与えるために宇宙を利用できると考えました。宇宙に興味・関心を持ってもらうために宇宙の美しさを知ってもらいます。しかし宇宙に行くのは難しいのでメディアなどを利用し、私たちに宇宙を近づけます。同時に宇宙からの地球の観測技術を向上させ、災害予測の技術を向上させることが可能になります。

情報を利用した犯罪を防ぐため、情報が通信衛星を経由する時点で違法ダウンロードなどをシャットアウトします。

電力供給の問題では、宇宙に巨大なソーラーパネルを展開して発電し電気をマイクロ波に変換して地球に送るという方法を考えました。

汚染水や除せんで出たゴミは太陽に飛ばし、処理できるのではないかと考えました。被災地での復興の様子・がれきが撤去されている様子を見てもらうことで、日本が元気になっていくことを実感してもらいます。



これらのアイデアの中から以下のように提言をまとめました。私たちが自分  
でできることは限られています。そこで、JAXA や他の方々に、いくつかの  
協力を要請したいと思っています。

- 1) 情報犯罪の防止のために、インターネットに使われている通信衛星の情  
報管理設備を整えてもらう
- 2) ゴミや汚染水を廃棄するために、軌道エレベータを造ってもらう
- 3) 宇宙を見て、宇宙を身近に感じてもらうために、プラネタリウムなどの  
メディア媒体に協力してもらう
- 4) 地球を見て、宇宙を身近に感じてもらうために、JAXA の持つ、衛星画  
像や温暖化などのデータを公開し、インターネットやテレビなどで気軽  
に見られる環境を整備する
- 5) はやぶさが起こした奇跡のように、より日本に誇りを持ってもらうため  
に、宇宙開発を今よりさらに進めてもらう
- 6) 財政問題を解決するために、宇宙開発でお金を稼ぐ

これらのことに関わっていくために自分たちができる活動としては、  
twitter やブログなどで宇宙に興味のない人も宇宙に目を向けてもらう、など  
の活動があると考えています。将来的には、自分たちが宇宙関係で起業し、よ  
り宇宙や地球の情報を発信することも可能だと考えています。

浪岡 燕平 遠藤 右樹 田嶋 周造  
花田 泰智 内沢 明菜 穴戸 梢  
藤原 悠暉 清末 万里子 田中 邦明  
高野 隼輔 清水 魁偉 井本 悠太  
熊谷 伊織 内藤 和希 寺崎 友紀  
荻野 翔平 中野 偉太 中山 顕次郎

2011年11月6日  
宇宙子どもワークショップ in つくば参加者一同